

科目名称：	ビジネスコミュニケーション（美術学科）	
担当者名：	金堂 佳永子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
初級ビジネスワーカーとして備えるべきコミュニケーション能力は、①聴き取る力(理解力) ②読み取る力(関係性の判断力) ③伝える力(自己表現力) です。ビジネス実務学科では、これらのコミュニケーション能力の中で、特に伝える力（社会人基礎力では「発信力」という）の養成を重視していること、また、1年次にコミュニケーションスキルの基本を学修していることから、当授業では、プレゼンテーションスキルに重点を置いて、ビジネスコミュニケーション能力の基盤を形成します。		
授業の達成目標・到達目標		
初回に、現時点でのコミュニケーションスキルについての自己チェックを行います。そして、スキル修得の自己目標を設定し、スキル修得へのモチベーションづくりをします。しかし一方では、過剰に目標を意識せず、毎回の授業（ワーク）を休まず楽しく受けることが一番の上達方法と考えますので、学期末に1回だけ自己目標と到達度をチェックして、自分自身の成長度を確認することにします。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	演習課題（ワーク）	提出課題（レポート含む）	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)					0
美術DP(4)		30	40	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 営業事務	《経験年数1》 2年
	《内容2》 秘書業務	《経験年数2》 2年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 コミュニケーションスキルを学ぶーなぜスキルを身に付けるのか	コミュニケーションスキルとは何か、自分なりの考えをまとめておくこと。	15分
第2回 コミュニケーションは難しいーなぜギャップが生じるのか	コミュニケーションスキルをなぜ身に付けるのかについて、まとめておくこと。	15分
第3回 メタメッセージを意識するー非言語的コミュニケーションとは	非言語コミュニケーションとは何か、自分なりの考えをまとめておくこと。	15分
第4回 話を聞くためのスキル①ー傾聴する、観察する、共感する	メタメッセージについて復習し、まとめておくこと。	15分
第5回 話を聞くためのスキル②ー傾聴する、観察する、共感する	話を聞くためのスキルについて復習し、まとめておくこと。	15分
第6回 理解を深めるためのスキル①ー質問する、確認する	理解を深めるためのスキル①の内容について復習し、まとめておくこと。	15分
第7回 理解を深めるためのスキル②ー質問する、確認する	理解を深めるためのスキルについて復習し、まとめておくこと。	15分
第8回 頭の中を整理するためのスキルー熟考する、関連付ける、優先順位を付ける	頭の中を整理するためのスキルについて復習し、まとめておくこと。	15分
第9回 仕事をスムーズに行うためのスキル①ー報告する、連絡する、相談する	ホウ・レン・ソウがなぜ大切なのか、自分なりの考えをまとめておくこと。	15分
第10回 仕事をスムーズに行うためのスキル②ー報告する、連絡する、相談する	仕事をスムーズに行うためのスキルについて復習し、まとめておくこと。	15分
第11回 情報を共有するためのスキルー説明する	情報を共有するためのスキルについて復習し、まとめておくこと。	15分
第12回 提案し、納得に導くためのスキル①ー説得する、プレゼンテーション	プレゼンテーションとは何か、自分なりの考えをまとめておくこと。	15分
第13回 提案し、納得に導くためのスキル②ー説得する、プレゼンテーション	説得やプレゼンテーションに関する内容を復習し、まとめておくこと。	15分
第14回 クレームに対処するためのスキルー謝罪する、問題を解決する	クレーム対処のスキルを復習し、まとめておくこと。	15分
第15回 総括	これまでの学習の振り返りと今後の目標設定をし、ミニレポートにまとめておくこと。	15分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
演習課題（ワーク）30%、授業への積極的関与30%、レポート40%

課題に対するフィードバック

ワークシート・レポート・自己評価シートなどの提出物は、確認後返却する。

教科書・参考書

『ワークで学ぶコミュニケーション・スキル』 中村健壽 監修 西文社